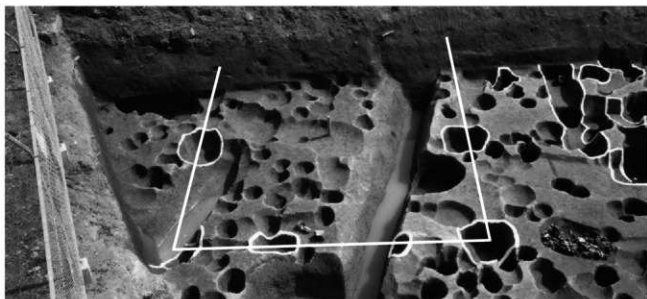




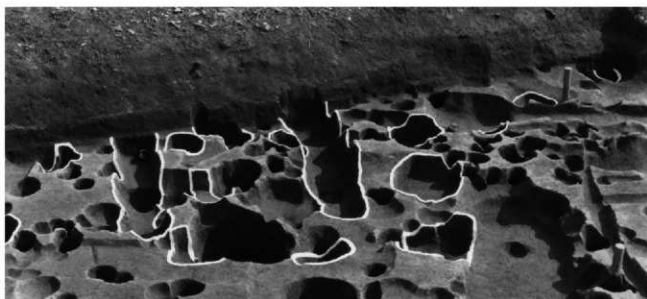
(1) 周溝墓1 (北方より)



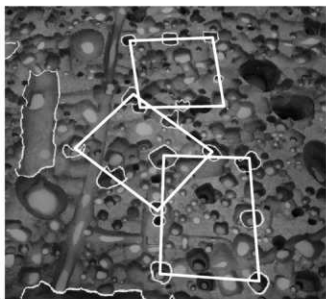
(2) 周溝墓2 (南方より)



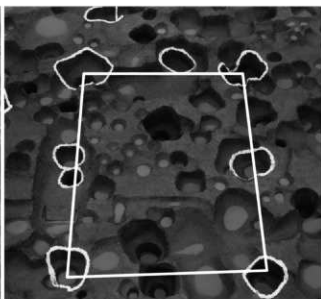
(1) 建物1 (北方より)



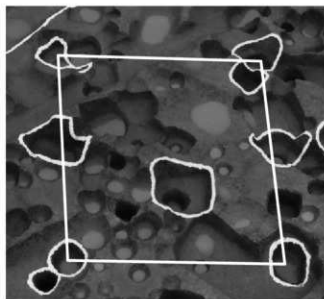
(2) 建物2・3・4・6 (北方より)



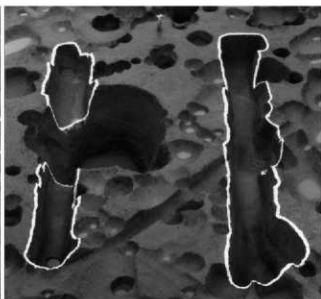
(3) 建物7・8・9 (北方より)



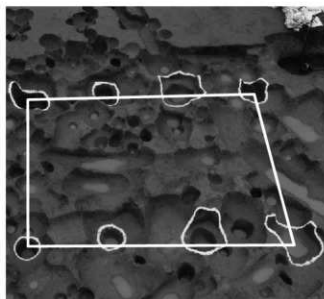
(4) 建物7 (北方より)



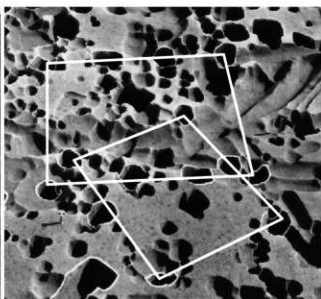
(1) 建物8 (北西より)



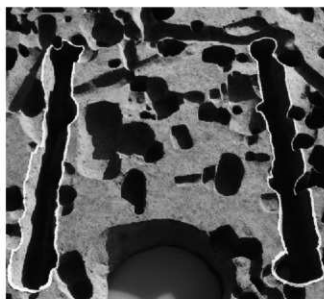
(2) 建物10・井戸14 (北東より)



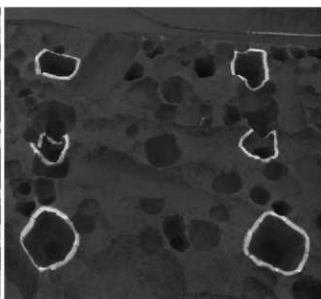
(3) 建物11 (北方より)



(4) 建物12・13 (北方より)



(5) 建物14 (北方より)



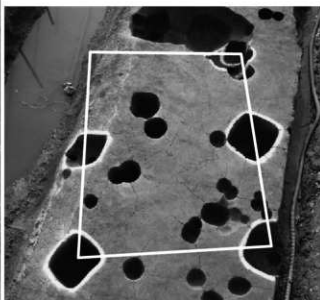
(6) 建物15 (西方より)



(1) 建物16・17・18・19 (東より)



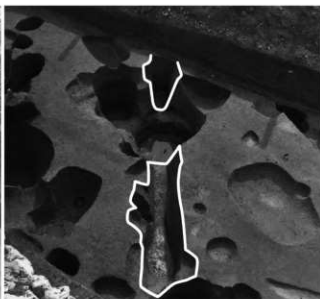
(2) 建物20 (南東より)



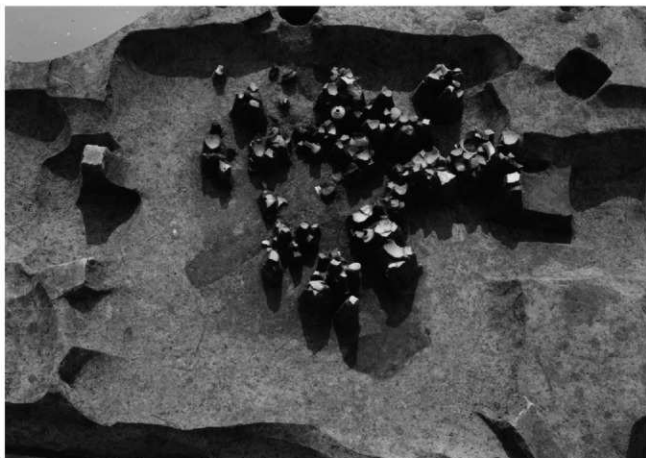
(3) 建物21 (北東より)



(4) 建物22 (西より)



(5) 建物23 (北西より)



(1) 井戸4上面（土坑420ほか）遺物出土状況（北より）



(2) 井戸4（北より）



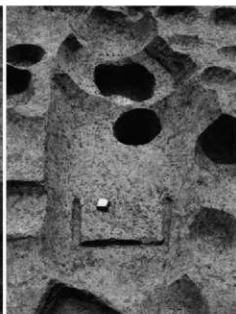
(1) 溝45 遺物出土状況(北より)



(2) 土坑46 上面遺物出土状況(北より)



(3) 土坑46 下面遺物出土状況(北より)



(4) 土坑75(北より)



(1) 土坑31 遺物出土状況 (北東より)



(2) 土坑91 遺物出土状況 (南東より)



(3) 土坑147 遺物出土状況 (南西より)



(4) 土坑186 遺物出土状況 (南東より)



(1) 土坑190 遺物出土状況 (南東より)



(2) 土坑240・p441 遺物出土状況 (西より)



(3) 土坑250 遺物出土状況 (北西より)





(1) 土坑265 遺物出土状況 (西より)

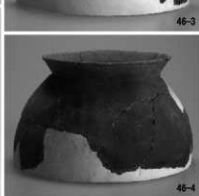
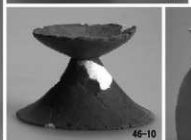
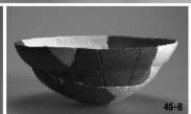
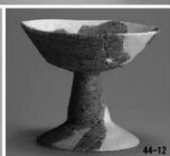


(2) 土坑298・299・300・424・p803 遺物出土状況 (北東より)



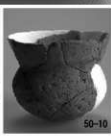
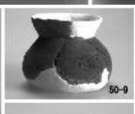
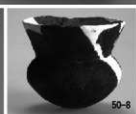
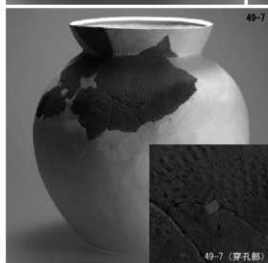
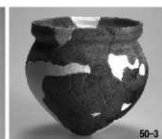
(3) 住居1土坑 遺物出土状況 (南より)



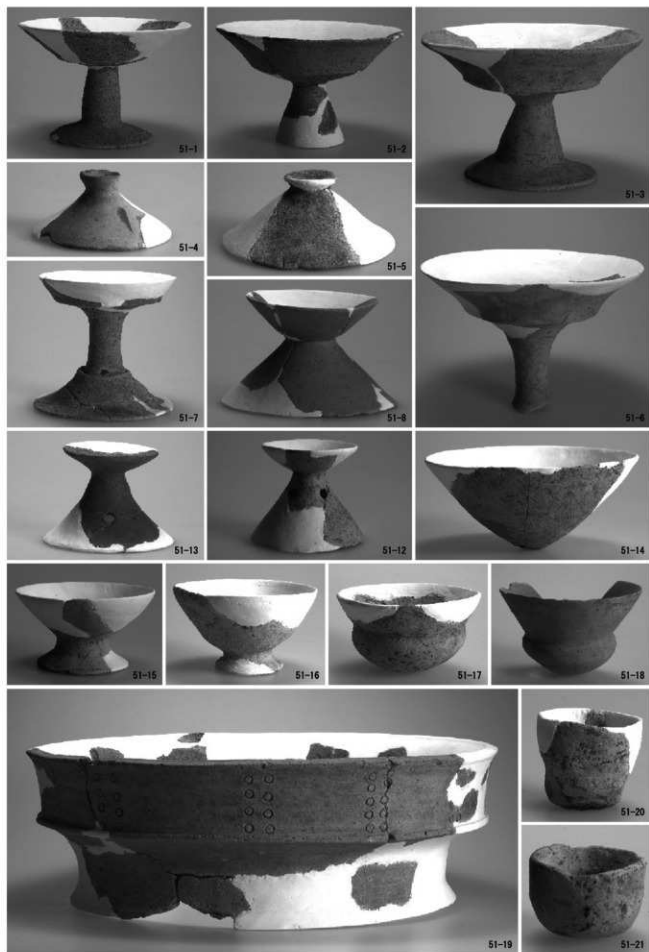


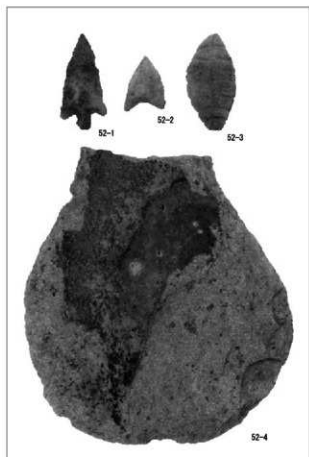
図版第一四 遺物(土器)



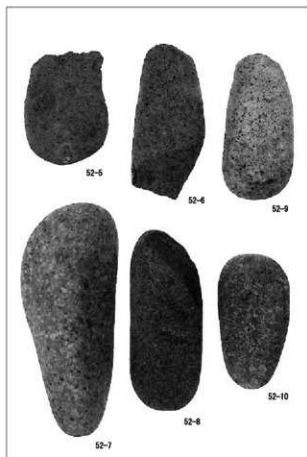


図版第一六 遺物(土器)

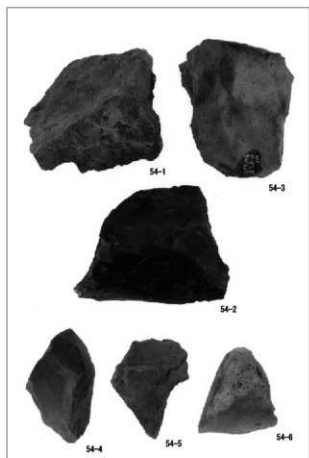




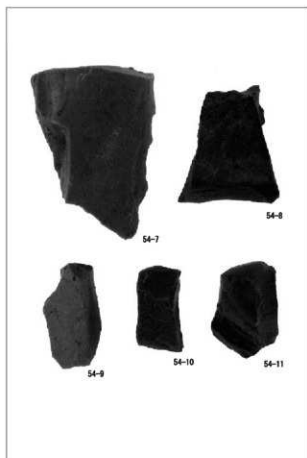
(1) 石鏃・石錘・打製石斧



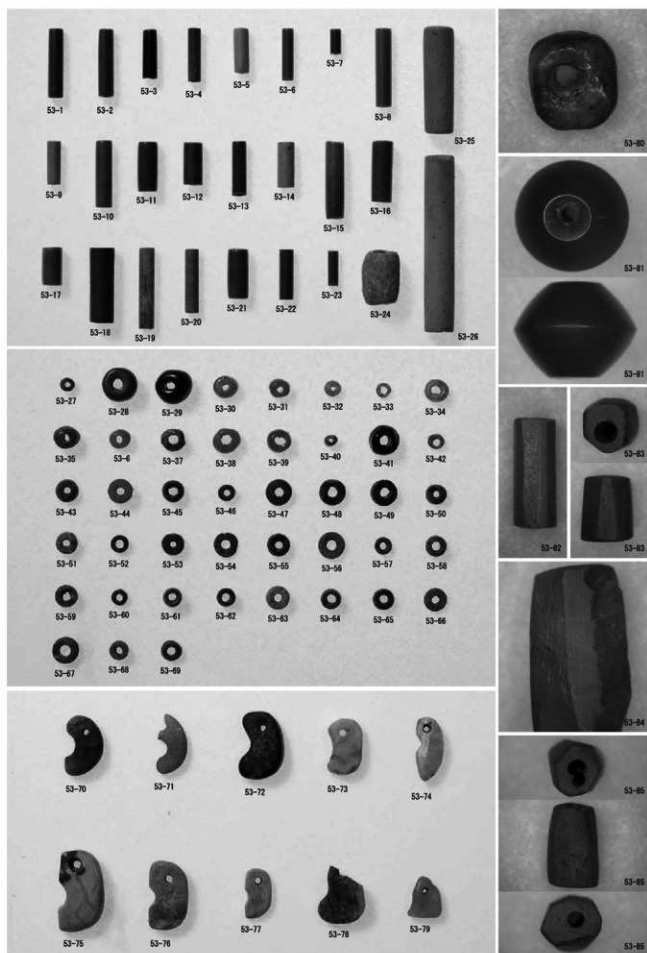
(2) 磨製石斧・敲石



(3) 未成品（荒削・形削段階）



(4) 未成品（形削・調整段階）



管玉・ガラス小玉・白玉・勾玉・垂玉・小玉・算盤玉・未成品（研磨・穿孔段階）



報告書抄録

ふりがな	なかつのいせき							
書名	中角遺跡2 - I区下層編 -							
副書名								
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第105集							
編著者名	中森敏晴 田中勝之 井之口茂 水谷圭吾							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL 0776-41-3644							
発行年月日	西暦2009年 3月 31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
なかつのいせき 中角遺跡 (I区下層)	ふくいけん 福井県 ふくいし 福井市 なかかのいせき 中角町	18201	01076	36° 06' 03"	136° 12' 18"	19960219 ～ 19990312	2,690㎡	九頭竜川等 河川改修事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
中角遺跡 (I区下層)	集落	弥生時代 後期～ 古墳時代 前期	周溝墓 掘立柱建物 井戸 溝 土坑・ピットなど	2基 22棟 5基	弥生式土器 古式土師器 玉作り関連遺物 (管玉・ガラス小玉・ 白玉・勾玉など)	遺構密度が非常に高い。掘立柱建物や井戸などの生活遺構と、周溝墓や土坑墓などの埋葬遺構が、相互に重複して検出されている。		
要約	中角遺跡は中世(上層)と弥生・古墳時代(下層)の二時期の遺構面を持つ複合遺跡である。今回のI区下層調査では、掘立柱建物群や井戸、周溝墓・土坑墓群などの遺構を検出した。遺構の重複状況から、墓域から生活域への変遷が推測され、土地に対する利用意識が変移した様子がうかがえる。集落の主体時期は、出土遺物から弥生時代終末から古墳時代初頭と推定される。							

---

福井県埋蔵文化財調査報告 第105集

## 中角遺跡 2

— 1区下層編 —

— 九頭竜川等河川改修事業に伴う調査 —

平成21年3月23日 印刷

平成21年3月31日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒910-2152 福井市安波賀町4-10

印刷 足羽印刷株式会社

〒918-8231 福井市問屋町3丁目212

---